



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党  
福山市議会議員団  
津之郷町津之郷 970-1  
084-952-2662

# 子どもたちに安心の居場所を

## 福山にも児童館の設置を

塩沢みつえ市議は、12月定例会の一般質問で児童館の設置を求めました。

児童館は18歳未満のすべての子どもに、地域での遊び・生活援助とともに子育て支援を行い、子どもの健全育成を図る施設です。

多くの自治体では地域に複数の児童館を設置し、子どもたちの自由な居場所として機能していますが、福山には「ふれ愛ランド」内に1所あるだけです。



ふれ愛ランド内の児童館（市HPより）



一般質問に臨む塩沢市議

### 夏は外で遊べない 屋内施設が必要！

11月に行われた母親大会実行委員会と市との要望懇談会で、「未就学児や小学生が遊べる屋内施設がない」「酷暑で外で遊べず家で過ごすばかりで子育てが大変」と悩みが語られ、児童館の設置が要望されました。塩沢市議は、市長が新たなネウボラセンター内に親子で遊べる場を整備することを明らかにしたことをこまめに、あらためて児童館設置の意義を質しました。

### 居場所が必要なら 民間施設を利用？

市長は、「屋内遊戯場については、子育て家庭のニーズ調査において、『悪天候でも利用できる屋内遊戯場』を希望する多くの市民の声を踏まえネウボラセンターに併設することとした」と答え、児童が利用できる屋内施設の必要性を認めました。

### 児童館の目的は 子どもの福祉向上

民間の屋内遊戯場は、「平日1人2時間までで700円」や「1歳から12歳まで平日30分で600円」など使用毎に料金がかかります。収益が目的である民間の有料サービスと、児童福祉法を根拠とする「児童館」を同列に並べて「子どもの居場所」とすることは、子どもの福祉の観点を欠いていると言わざるをえません。

### 子育て支援に市民の声を

12月15日、10カ月間にかたって福山市の子育て支援策の在り方を議論してきた「子ども未来づくり100人委員会」が宣言をまとめ、閉会しました。委員会の議論においては、地域とのつながり、仕事と子育ての両立、子育ての意識・環境づくりの3分野のテーマ別にグループ討議が行われ、意見の醸成が行われました。特にどの分野においても、子どもと親の「居場所」の充実が取り上げられており、あらためて拠点を中心とした子育て世帯のつながりを作ることの重要性が浮き彫りとなっています。委員会での議論と宣言は、市の施策に市民意見を反映させるためにも重要視しなければなりません。市長は宣言について「今後の施策のヒントにする。」と述べるにとどまっています。

駅前周辺以外の地域での必要性については、「周辺地域については、大型遊具等を備えた民間の大規模な屋内遊戯場が複数」ある、「親子が楽しめる空間としては、『ふれ愛ランド』、『36か所の保育施設において低年齢向けの遊具を備えた室内の遊び場を設置』していることに言及しましたが、児童館設置の必要性については明言しませんでした。

どの地域でも、誰でも利用できる児童館は、地域の福祉・児童福祉の向上を目的として設置されており、この機能が市民から求められているという認識に立つべきではないでしょうか。塩沢市議は広島市内には121所の児童館が設置されていることを紹介し、就学前の親子が過ごす場所、児童・生徒の学習する場所の充実のため、福山市でも設置実現を求めました。

### 福山市子ども未来づくり宣言

子ども未来づくり100人委員会は、福山市を子育てしやすいと思えるまちにするために、同じ志を持った161人が集結しました。福山市と、市民・企業・子育て支援団体が協力を起こし、誰もがいきいきと自分らしく活躍しながら、地域一体となって子どもたちを育て、子どもや若者を尊重する社会をめざすために議論を重ねました。議論を進めていく中で、「様々な世代が集える居場所づくり」「働き方改革の推進」「子育てに関する情報発信の充実」「子ども主体の教育の推進」の4つの重点的な取組にまとめました。これに基づき、それぞれの立場で取り組む方向性をここに記し、「子どもまんなか社会」の実現に向けて実行していきます。また、福山市は、これらを市の計画や施策に反映し、取り組んでいきます。

市民	企業	子育て支援団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>○助け合いの心を持ち、相談や交流の場に積極的に参加します。</li> <li>○共育を実践し、地域活動に積極的に参加します。</li> <li>○活動や取組の内容について、情報を発信します。</li> <li>○子どもや若者の意見を聞き、権利を尊重します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民や子育て支援団体が行う取組に参画し、応援します。</li> <li>○柔軟な働き方を促進し、社員の子育てや地域活動に協力します。</li> <li>○子育てに関する情報を、企業の内外に発信します。</li> <li>○子どもを中心とした、経験や学びの場を設ける活動に協力します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存の施設や取組も活用し、親子や地域の方が集える居場所づくりに協力します。</li> <li>○働く人たちが仕事と育児を両立しやすい環境を整えます。</li> <li>○子育てしている方同士の交流や、情報交換をする機会を提供します。</li> <li>○子どもの創造性や自主性を育む活動や教育に取り組めます。</li> </ul>

市が主催した委員会での市民意見や願いを、どの様に受け止め、今後の施策にどの様に反映させるのかが問われます。委員会の意義を確かにするために、市民の役割や責任の在り方を明確にすることが必要です。